

推薦

開成町長賞

「夜の花」 萩野 悦男（開成町）
夏の夜の豪快な花火をコミカルな風景の中に上手に捉えられた作品である。やかもすると花火が単調な作品になってしまう。手前にリズムミカルなコミカルな若者の姿を配し、豪快な花火を添えたダイナミックな作品である。



特選



議会議長賞

「祭りがゆく」
木村 忠義（秦野市）
光の明暗の中で、あえて祭りを後ろから撮るということで上手に表現している作品である。あじさい祭も立体的な中で光の明暗をうまくとらえた作品である。

2007 開成観光フォトコンテスト



教育長賞

「気合を入れて」 瀬戸 真美（小田原市）
阿波おどりを望遠レンズを上手に使って、迫りくるような若々しい迫力ある瞬間をとらえた秀作である。



商工振興会長賞

「大きくなるように」 山口 ヤス子（開成町）
子どものすばやい動きを大きな空間の中できれいにとらえた作品である。色の使い方、ササの緑と短冊の色など、のどかな雰囲気の出ている作品である。

入選

第1席

「がんばってね」
清水 久生（秦野市）



第2席

「夕暮れ」
武藤 滋（秦野市）



第4席

「田植えの頃」
青木 房雄（秦野市）



第5席

「たそがれどき」
中 秀邦（南足柄市）



第6席

「瀬戸屋敷の蛍光」
野村 佐理（川崎市）

開成あじさい祭、あしがら花火大会、開成阿波おどり、あしがり郷「瀬戸屋敷」で行われた行事を中心としたテーマで応募作品を募集したところ、町内外から108人335点の応募がありました。
1月17日（木）に行った審査の結果、推薦・特選・入選・佳作作品合わせて20点が選ばれました。特選と推薦の写真に、技術審査員を務めた写真家柴田博司さんの講評を添えて紹介します。これらの作品は、今後、町のイベントのPRなどに活用されます。（敬称略）

問 産業振興課 ☎ 84,0317